

事業目的

厳しい寒さや冬季の積雪を天の恵みとし、市民が長く寒い冬を親しみ楽しむことを目的とします。

特に第62回については、新型コロナウイルス感染症に対応した新たな生活様式に則った初めての回として、市民や観光客が安心して楽しめるイベントとして実施します。

基本的な考え方

○ 新型コロナウイルス感染症に対応した冬まつり

- ・新型コロナウイルスと共存する時代の初めての開催であり、三密（密集，密接，密閉）を避けるなど国の示す「新しい生活様式」の実践例や関連するガイドライン等を参考としながら、開催準備，当日運営，終了対応含めたすべての期間，運営役員，関係事業者，来場者などすべての関係者の安全を確保します。

○ 屋外で三密を避けて楽しめる冬まつり

- ・メイン会場は、三密を避けるため、これまでの石狩川河川敷の特定の会場ではなく、駅周辺から買物公園にかけての「まちなか」の動線とし市民や観光客が滞留することなく、雪像や氷像を歩きながら見る「ウォークスルー」を基本とします。
- ・そのため、通常年に河川敷で実施していた各種セレモニーやステージイベント，冬マルシェなどは実施しません。
- ・まちなか会場のほか，各団体の皆様の御協力により，市内各所で会場を設置して，市民や観光客が各地に分散して雪像見学等ができるイベントとします。
(各団体においてもガイドライン等を参考に感染対策を徹底していただくようお願いします。)

○ I C Tを活用して市民などが参加できる冬まつり

- ・市民のほか国内外の人々がW e b上で雪像を観覧したり，市民や団体がその地域で制作した雪像などをW e b上で観覧できるなど，インターネットを活用したイベントとします。



ウォークスルー，分散開催，I C Tの活用により，市民や観光客が安全・安心に参加できる
「みんなで冬まつり」の実現

開催期間

令和3年2月3日（水）～2月7日（日） 5日間 ※イルミネーションなど一部事業は事前実施、延長実施も想定。

実施体制

- ・主催：旭川冬まつり実行委員会
- ・協力，共催，後援：別途依頼

今回の主な見直しポイント

冬まつり直営事業のうち今回見直す取組	第62回	(参考) 第61回
開催期間	5日間（一日短縮）	6日間
メイン会場	買物公園や駅周辺の「まちなか」の通り	石狩川旭橋河畔
雪像制作	大雪像は今回は中止，まちなかなどで分散して中小雪像を制作	河川敷内に大雪像（メイン雪像及びバルコニー雪像），中雪像8基，小雪像23基制作
ステージイベント	今回は中止	河川敷で実施
冬マルシェ	今回は中止（会場周辺店舗との連携検討）	河川敷で実施
（仮称）光のまち事業	今回新たに実施，ウォークスルーで楽しめるイルミネーションや花火等を実施	—
（仮称）みんなで冬まつり事業	今回新たに実施，市民参加型イベント。オンライン上で開催	—